

「国立病院機構診療情報集積基盤（National Hospital Organization clinical Data Archives: NCD）を用いた季節性インフルエンザ、急性肺炎、COVID-19の疫学的・臨床的リスク評価に関する研究」の実施に関するお知らせ

独立行政法人国立病院機構の本部総合研究センター診療情報分析部及び三重病院では、季節性インフルエンザ・急性肺炎・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生動向を評価する手法と枠組みを構築して、その有用性を検討する事を目的とした研究を実施します。

1. 研究の目的

国立病院機構の所属病院を利用された患者さんの診療等を通じて集積された診療情報から、表題の感染症の診療内容に関して分析を行い、その流行状況や重症度、医療機関に対するインパクトを包括的に評価するサーベイランス手法とその枠組みを開発します。

2. 研究の概要

国立病院機構の各病院に入院もしくは外来受診された患者さんの診療情報が本研究の対象となります。医療行為（処置、検査、処方薬剤）等の情報を用いますが、日常診療で集積された既存の診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様は何らかの負担が生じることはございませんのでご安心ください。

3. 個人情報の保護について

本研究で利用させて頂く個人情報は、個人が特定できない処理を行った上で国立病院機構本部総合研究センターが責任を持って管理いたします。本研究の成果は国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や論文雑誌での報告に用いられることがあります。成果公表には集計値のみが用いられ、患者さん個人が特定されるデータが公表されることは一切ありません。

ご自身の情報が本研究において利用されることにご了承いただけない場合や、研究計画書及び研究方法に関する資料の閲覧の希望、本研究で利用する個人情報の開示等の希望、または本研究についてご質問がある場合は、下記窓口までご連絡をお願いいたします。皆様の病院サービス利用に関して、本研究への問い合わせや開示等を希望することで不利益が生じることは一切ございませんのでご安心ください。

【問い合わせ窓口】

〒152-8621 東京都目黒区東が丘 2-5-21

国立病院機構本部 総合研究センター 診療情報分析部

TEL：03-5712-5133